

評価		反省・改善点
保育目標	B	個別の配慮や援助を必要とする子どもが多く、人員の不足もあり目標の達成には至らない部分もあったが、人員の確保が出来れば個別の対応により確かな成長も見ることが出来た。 課題も多く感じる事が出来たので、ひとつひとつ取り組んでいきたい。
社会的責任	B	一時預かりの周知に力を入れ利用者の増加につながった。継続して利用者のニーズにこたえていきたい。新規事業の病後児保育も同じように周知して行きたい。病後児保育とは？という説明が必要と感じている。
人権尊重	B	子どもを一人の人として尊重し、職員間で情報・認識の共有を図ることができた。
説明責任	B	保育参観や親子給食など、保護者に実際の保育を見てもらう機会を増やすことが出来た。
情報保護	A	個人情報等は電子的記録によりクラウドに保存するなど、管理者・または職員のみがアクセスできるようにし、紙媒体による管理を更に減らしていきたい。
苦情処理 解決	B	苦情処理の体制をより周知し、苦情解決できるよう努めたい。
健康管理	B	園児の健診・尿検査は滞りなく行えた。 職員の検便で1か月分の失念があったので、今後無いようにする。
環境 衛生管理	B	保育補助者の体制を整え、より改善していきたい。 環境消毒を徹底して行いたい。
安全対策 事故防止	B	定期点検や避難訓練は、しっかり行えた。 改善策の検討会議を行い、より改善していきたい。
保護者への 支援	B	子育てだよりの配信や保護者参加イベントの実施により交流の機会を設けることが出来た。
地域等への 支援	B	一時預かり保育の周知に力を入れ、利用者の増加につながった。 分園で病後児保育を開始し、地域への周知に努めた。
地域行事への 参加	B	分園園庭を開放し地区の盆踊り会場に利用した。
研修計画	B	リモート研修をメインに集合研修への参加もできた。積極的な研修への参加をしていきたい。
小学校との 連携	A	担当職員を明確にし、小学校との情報交換や交流会に参加できた。今後も継続して連携に努めていく。

評価 A：かなり出来ている B：ほぼ出来ている C：あまり出来ていない D：全く出来ていない